

関西城郭研究会 新年例会

2009年1月25日

『国難の時代 幕末 海防と城』

しろはく

古地図と城の博物館

富原文庫 代表 富原道晴

始めに

城と武器は、何時の時代も、変革への最先端技術であった。
大地に残された当時の遺構、全国5－6万の城跡から、
考える、戦略の数々、そして、
江戸の砲術展 砲術師幕臣井上貫流の事跡から
幕末の緊迫した海外情勢と幕府の対応について
国難の時代の海防と城について

時間があれば

上田商工会議所の依頼・地域活性化目的

真田太平記の舞台

戦国時代の城と合戦絵図展の内容紹介

2)城の定義 城とは何か

軍事上の目的で構築された防衛設備

古城・城郭・要塞すべて城の一種

中世・近世・幕末明治の城

環濠集落・神籠石・朝鮮式山城・城柵・城
(キ)・居館・山城・砦・古城・城郭・陣屋・平
山城・平城・海城・台場・砲台・陣屋・要塞・
陣城・チャシ・グスク・館・高地性集落・水
城・防塁・出城・端城・境目城・根古屋

3)城の作り方

選地 戦略・地形・位置
縄張 平面構成・防御方法
普請 土木工事・堀・石垣・土塁・削平
作事 建築工事・櫓・塀

城を守る

戦略 援軍 兵力 時間 食料 水 武器
城の構造・防衛能力

4) 城の始まり・発生

定住とともに（縄文の環状土塁）

防御施設 集団と集団の戦いから発生 戦いの起源が城の起源となる
弥生の環濠集落 20数箇所（城の原像 国立歴史民族博物館）

○愛知県清洲町朝日遺跡2000年前

幅5－7m深さ1.5mの堀3－4重・土塁・土塁上2mの柵・土塁の外に2重逆茂木・2－3m幅の柵列と50－70mの防衛ライン・10haの村

○横浜大塚遺跡2000年前

深さ2m幅3mの堀東西230m南北130m・堀外2mの土塁・土塁上2m柵列

○佐賀県吉野ヶ里遺跡

2100年前から1700年前弥生中期～後期の巨大な環濠集落 規模30万m² 日本一の規模 内外郭2重構造・内郭に2重堀・大型建物・櫓・食い違い小口・帯郭・張り出し・7m幅・3m深堀

6)城の変遷 西の朝鮮式山城・東の城柵 大宰府防衛国家築城 大野城 水城 基肄城

○朝鮮式山城と神籠石

高良山・女山・雷山・おつぼ山・帯隈山・杷木・鹿毛馬・御所ヶ谷・石城山 9城

菊池城・金田城・基肄城・大野城・永納山城・城山城・屋島城・長門城・常城・茨城・鬼城山城・大廻小廻山城・城山城・高安城 14城
水城—大宰府防塁—土塁と巨大な水堀

明治31年久留米高良山紹介 663年白村江敗戦から57年間、日本書紀・続日本紀に記載 新羅の日本侵攻対策構築

円周数キロにおよぶ包谷式山城(山頂式)

切石列石に囲まれた70—80度・3—5mの版築土塁・谷をカバーする城門石垣・横矢構造

7世紀中期から後期の異民族戦争拠点・広大な兵站基地

○国家の蝦夷政策拠点 多賀城等の城柵 政庁

8) 蒙古襲来元寇防塁 奥州藤原氏阿津賀志山防塁

○文治5年1189年奥州藤原氏が源頼朝の奥羽侵攻の防衛線
福島県伊達郡国見町 3キロにおよぶ防衛線 幅20m深さ2.2m 2
重堀3重土塁 2万騎の守備兵 28万4000騎の鎌倉軍・工兵隊80人
17万騎奥州藤原平泉滅亡

○鎌倉時代13世紀における蒙古襲来に対する石築地 元寇防塁
文永11年1274年戦艦900隻・3万余の軍隊 対馬壱岐経由10月1
9日博多湾今津に上陸、九州の守護迎撃、異国警固番役御家人20日
夜暴風雨により壊滅
弘安4年1281年6月6日日本軍の交戦により博多に上陸できず、壱岐
に集結、14万2千の大軍、7月30日暴風雨により壊滅
蒙古襲来絵詞 肥後御家人竹崎季長 火器鉄砲

幕府は建知2年1276年3月から8月 異国警備の石築地構築
福岡市香椎・箱崎・百道・生の松原・今津20キロ 山口佐賀沿岸
高さ1.4ー4.3m幅2ー2.6m傾斜80度国別割普請

9) 沖縄の城(グスク) 首里城 中城城 今帰仁城

琉球石灰岩による曲線の城郭・側面防御張り出し

三山時代1326年から1430年琉球王国成立

1609年薩摩島津軍3000人100隻琉球侵攻島津の支配下

○中城城1420年築城 総石垣切込みはぎ巨石

○今帰仁城1300年代後半築城1665年廃城

○首里城1665年以降唯一の城郭明治12年1879年廃城

石垣・アーチ門・堀がない・横矢・高石垣

日本の城より150年早く発達 奄美大島から八重山群島まで

200－300遺跡残存 ハブの危険

首里城東西400M南北270M

10) 戦国時代の古城 山城と居館・根古屋・村の城 一向一揆の城 慶長日向国絵図・越後国郡全図

北条・武田・上杉の抗争

中世城郭遺構 堀切・豎堀・畝堀・障子堀・
横堀・土塁・小口・横矢・枡形・切り岸・削平
地・水堀・櫓台・食い違い・馬出・土橋
複雑な平面構成・限られた素材・地形に制
約 埼玉県で昭和58年調査679城跡、松
山城、杉山城、菅谷館、浦和旧市街18城跡、
朝霞の岡城跡公園、全国5－6万城跡

12) 朝鮮半島の倭城

文禄慶長の役 1592－97年

天正20年1592年4月上陸後20日で、首都漢城を占領、
民兵により長期化、慶長2年1596年から慶長3年1597年秀吉の死去、10月撤退、朝鮮南岸に日本軍が築城30城

つなぎの城朝鮮邑城の改修 御座所築城対馬清水山城壱岐勝本城
朝鮮八道分割支配の城 仕置き之城 新規築城 海岸築城

最先端の築城技術が化石に 豎石垣

食料供給・輸送船は終戦まで確保 対馬海峡の制海権は日本軍
山城と港湾の連結防衛

文化移入 陶磁器生産技術・活字印刷技術

朝鮮総督府調査朝鮮城址実測図明治末大正・倭城址図昭和初期

14) 島原の乱 島原天草一揆 原古城

国指定史跡 原城跡 慶長19年1614年までキリシタン大名有馬直純居城 江戸幕府直轄領を経て、松倉重政島原築城で廃城

寛永14年1637年島原の乱 当初島原藩は近隣に援助を求めたが、他藩への出兵は禁止(武家諸法度)。37000人が125000人の幕府軍と対決。幕府老中松平信綱兵糧攻・総攻撃 12月から2月まで3ヶ月籠城絶滅

標高31m周囲4キロ

1638年落城後封印された日本のポンペイ・大量のキリシタン遺物出土

15) 城と陣屋 狭義の城

城とは近世においては一万石以上の大名居城
国持大名20・準国持大名3・城主大名125・城主
格大名19の居城は城、慶応3年時点167家、無
城主大名99家の居城は陣屋と称される。

徳川時代家格制度 元和元年寛永12年武家諸法
度、陣屋であっても、防衛機能のない代官所は城
ではない。

明治4年版籍奉還時点大名総数285家

武蔵国 城主大名 : 川越城 松平氏、岩槻城 大岡氏、
忍城 松平氏

無城主大名 : 岡部 安部氏、金沢 米倉氏

16) 元和一国一城令 新規築城禁止 軍学

城築 築城学が机上の学問となった時代 兵法書

甲州流兵法 甲陽軍鑑 徳川家兵法

北条氏長・山鹿素行・有沢永貞等軍学者による

○古城縄張調査 甲州流遺構

○築城研究 築城記 城制図解 兵法雄鑑 武教全書

○城郭図収集 主図合結記144城図集

○城郭縄張り図研究 机上の練習図 偽装の絵図

17) 最近世城郭 緊迫する海外情勢

寛政4年1792年異国船取扱海岸防備令

文政8年1825年異国船打払令

元治元年1864年四国連合艦隊17隻軍艦長州下関砲台占拠

火砲想定 稜堡式城郭

五稜郭 四稜郭 天保山砲台 和田岬砲台 弁天崎砲台 松
前城 品川台場

薩英戦争 鹿児島湾台場 長崎湾台場 ペリーまで600、以
降400の台場構築・数千台の備砲整備・洋式軍艦の建造65
隻・対馬小笠原占拠・近代軍制の導入・洋式調練実施

19) 明治10年西南戦争遺跡

西南戦争之記録 戦跡の悉皆調査
大分県750の官軍塹壕・堡塁
多角形稜堡型銃砲陣地20m以下の規模
夥しい弾丸検出

明治4年8月全国4鎮台 熊本に鎮西鎮台

明治6年9年谷干城司令長官

明治7年征韓論否決 西郷・板垣・江藤・副島在野

明治8年佐賀の乱鎮圧・台湾出兵明治9年熊本神風連の乱

明治10年西郷隆盛軍人13000人 人夫8000人

政府軍58500人(熊本鎮台守備兵3400人含む)

政府軍熊本籠城・天守炎上・西郷軍熊本城攻撃・4ヶ月水攻め兵糧攻め

52日間の熊本籠城は政府軍の侵攻により西郷軍撤退終了

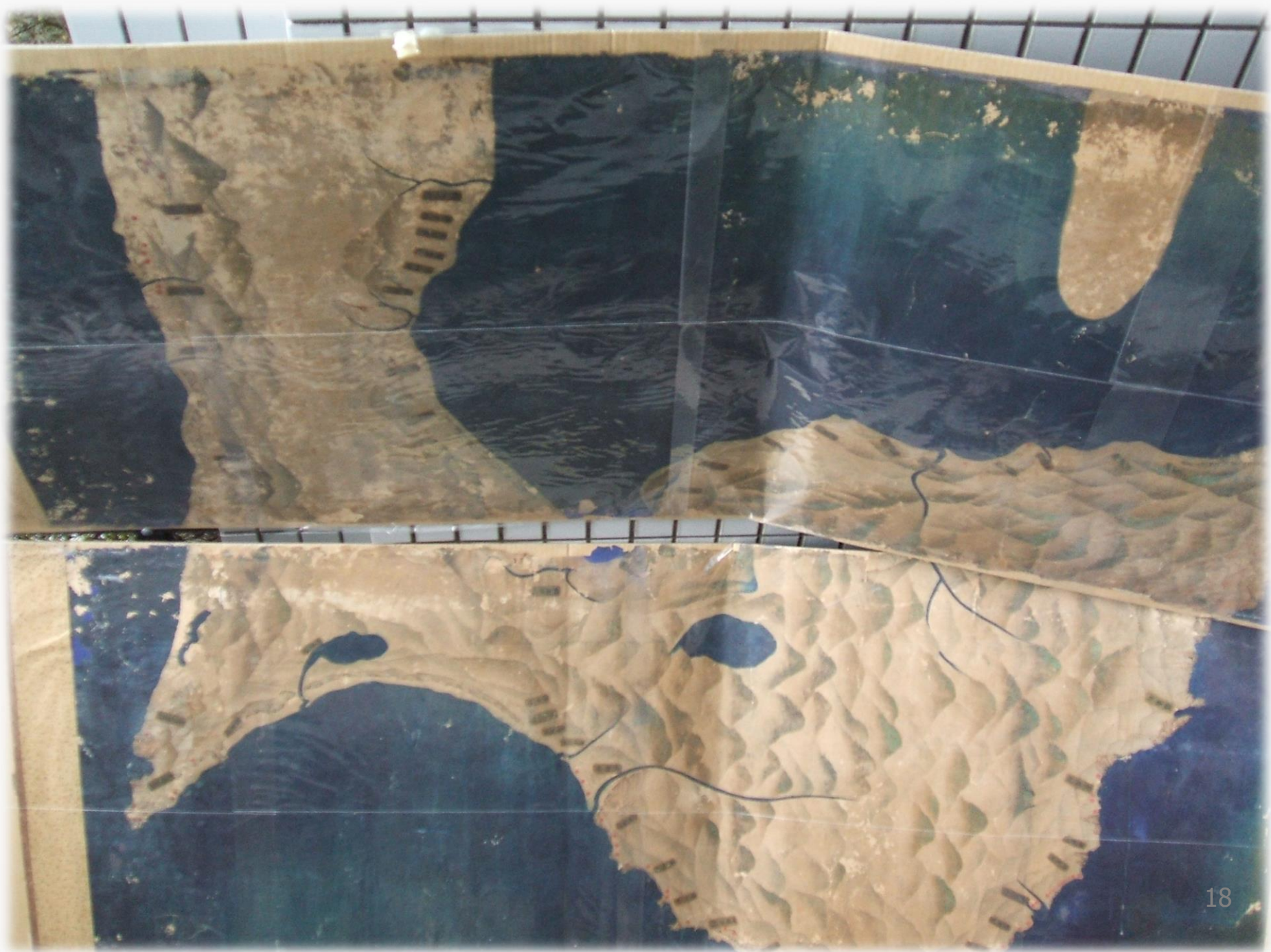
9月24日鹿児島城山西郷隆盛自刃

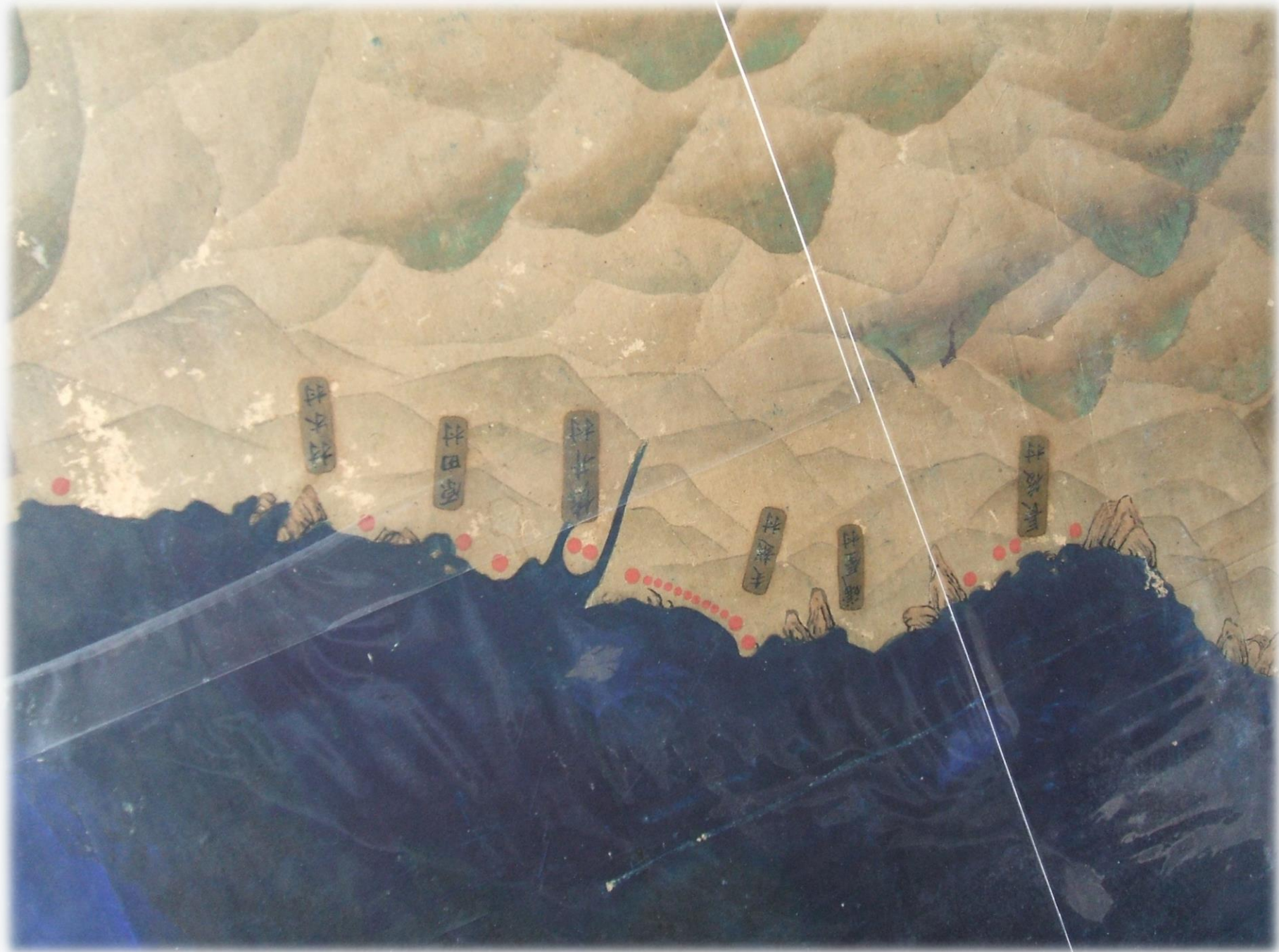
国難の時代に生きた市井の、 幕臣としての砲術師の記録

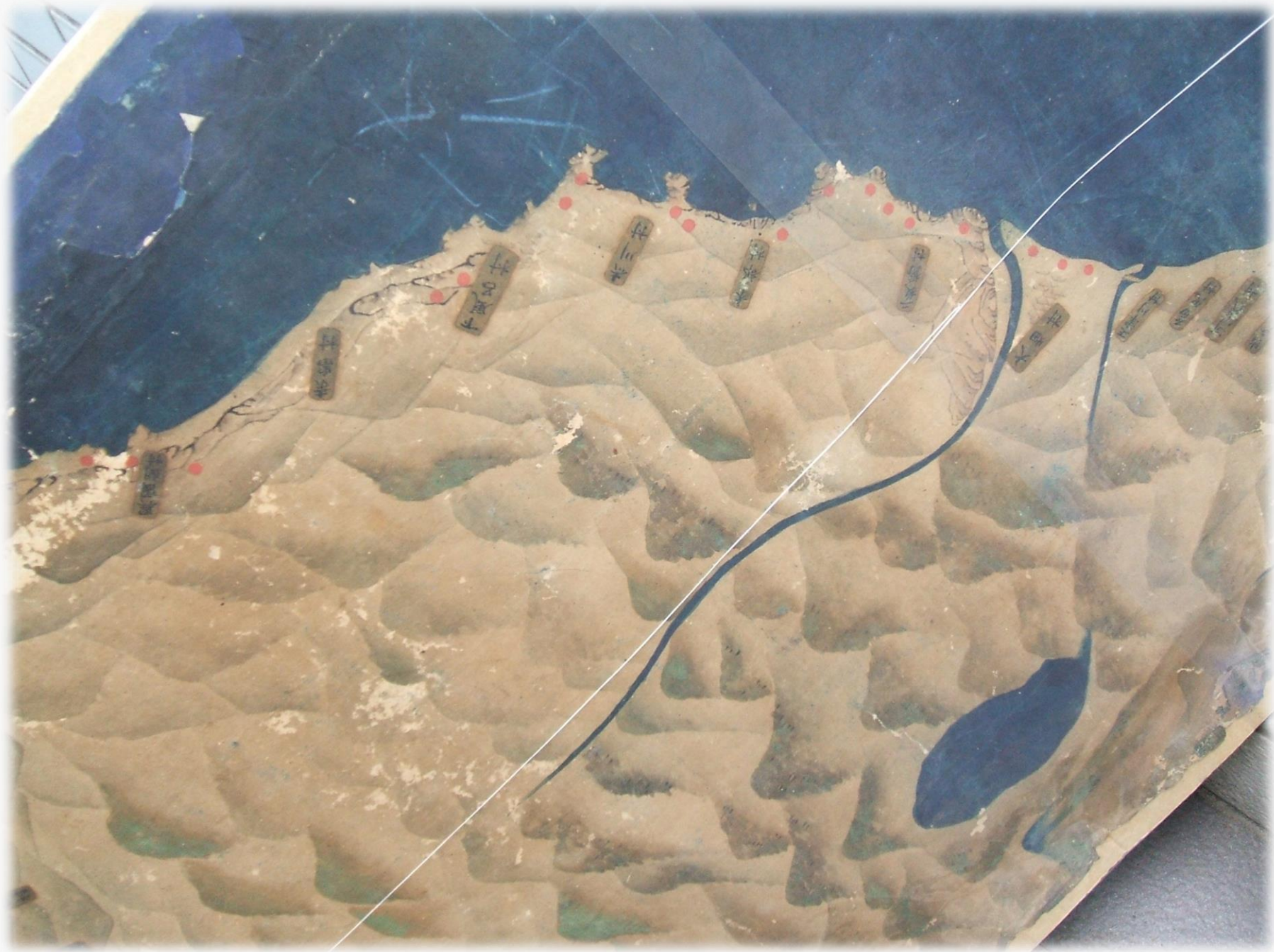
- 砲術が『武芸としての命中率』を競った時代から、到達距離、迅速性、銃剣等の機能性、個人技より集団力、『軍事技術・戦力』を求められた時代。
- 砲術が秘伝から科学の領域に踏み込んだ時代。
- 砲術が護国の要法とされ、砲術・艦船・城制が海防の基本とされた時代。（江川海防建議書）
- 欧米の脅威が工業近代化を促し、砲が幕末日本の植民地化を防ぎ、日本を救った時代。

幕府・砲術は異国船防御の要術

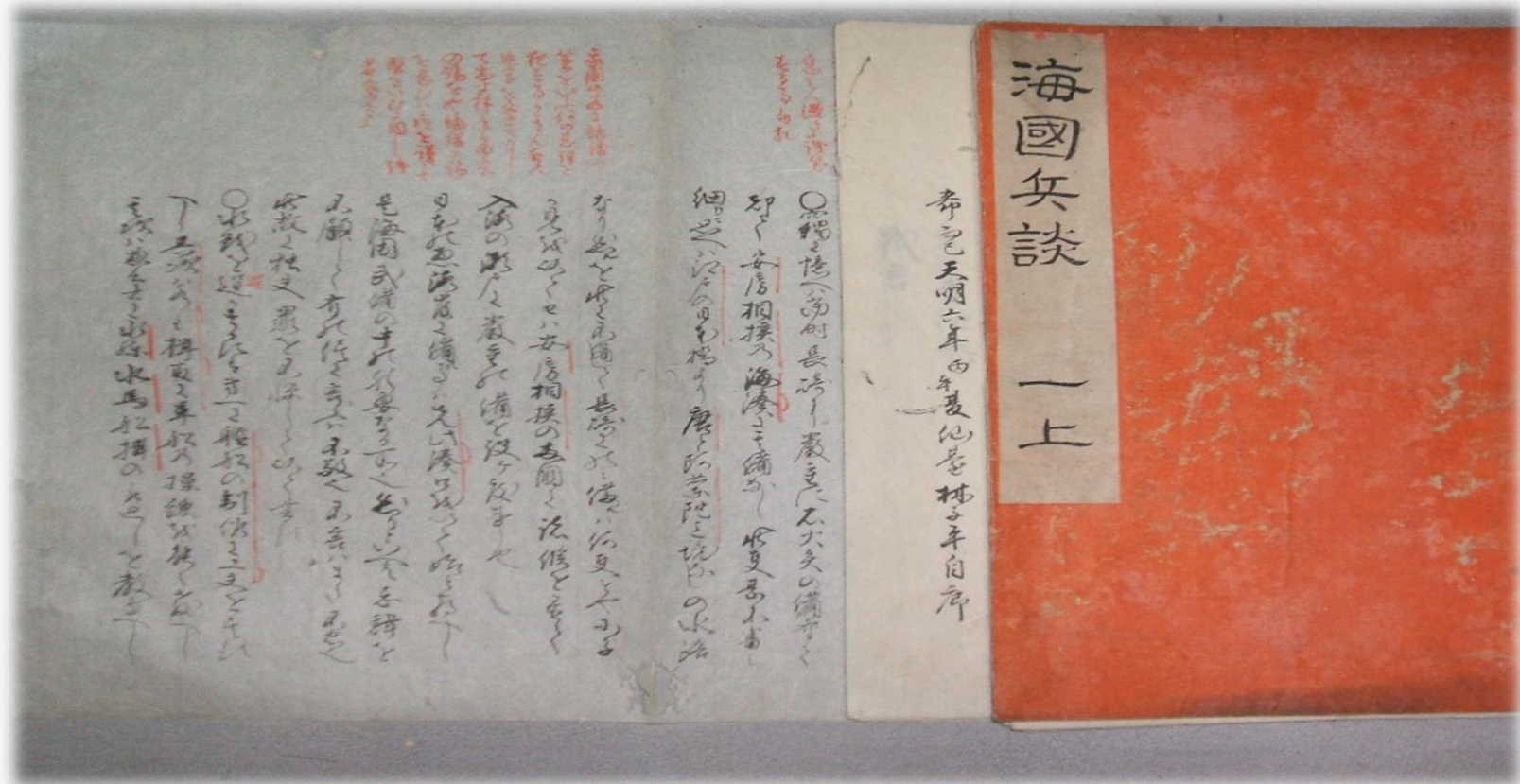
- 海国兵談林子平 江戸日本橋より、唐和蘭まで境なしの水路なり
- 寛政2－6年幕府寛政改革武芸奨励・調査・幕臣登用
- 天保11年－13年中国アヘン戦争・香港割譲
- 天保13年異国船渡来の節取り計らい
海岸警備兵力武器の報告、台場・遠見番所・海岸の絵図提出
- ペリーまでに600の台場・以降400の台場構築・陸戦防御、(内海、財政事情・動員体制)、獵師、農兵(防衛研究所戦史部原剛氏)
- **嘉永6年6月から翌年6月までの1年間に、
『大砲鑄立諸家届』180藩1374挺の鑄砲
数千の備砲(反射炉・鑄造所・木筒)**







林子平・海国兵談



反射炉鑄造事業・木筒製作

- 六藩1代官所
反射炉16基
- 四藩 高炉13基



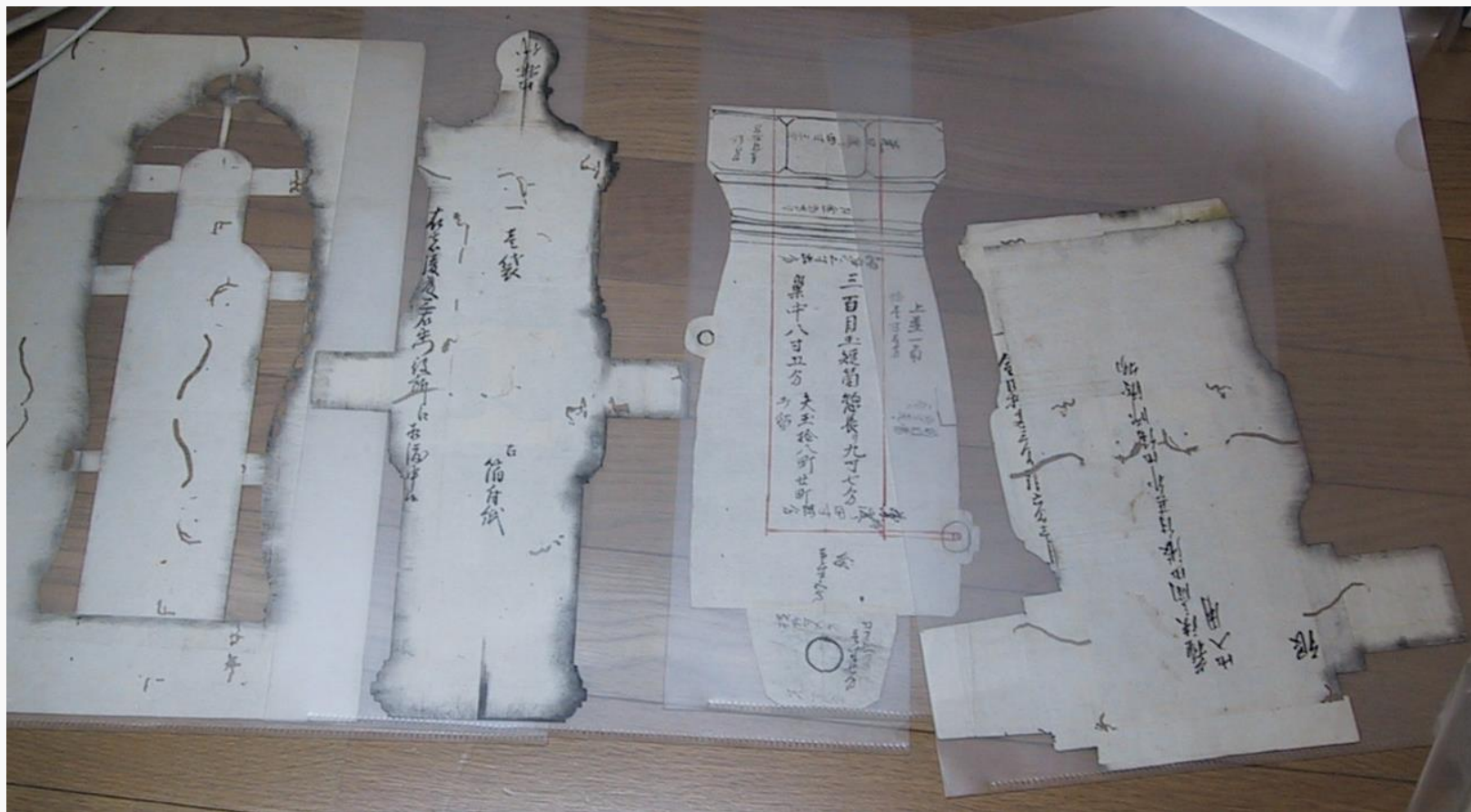
幕府の軍艦政策

- 慶長14年1609年徳川家康西国諸大名の軍艦安宅船没収、所有建造禁止
- 寛永7・8年安宅丸・天地丸大筒9門小筒50門
- 寛永12年1635年6月500石以上大船建造禁止令武家諸法度17条、13年海外渡航禁止、鎖国令、15年商船解禁軍艦のみ規制
- 嘉永6年1853年6月ペリー来航、9月大船建造禁止令解除、海軍編成振興、洋式軍艦建造20藩（この間218年）
- 幕府15年間、幕末までに45隻の洋式軍艦

井上貫流の生きた時代とは

- 太平洋北部・欧米列強の植民地政策
- 地球上で人間の生息する地理や統計の中で、ほとんど唯一の空欄となっているのは日本ばかりではないか
日本渡航記ゴンチャロフ
日本人は兵器の用意も防守の考えもない、軍艦の備もなければ砲もなく、海軍の備もない、ヨーロッパの小軍艦で日本のいかなる大軍も殲滅できる
奉使日本紀行クルーゼンステルン
- 文久元年1861年3月4日ロシアビリレフ対馬上陸占拠、租借要求。6ヶ月占拠、イギリス小笠原占拠

大砲切型・製造書控・秘伝書



貫流の集書・稲富流砲術伝書

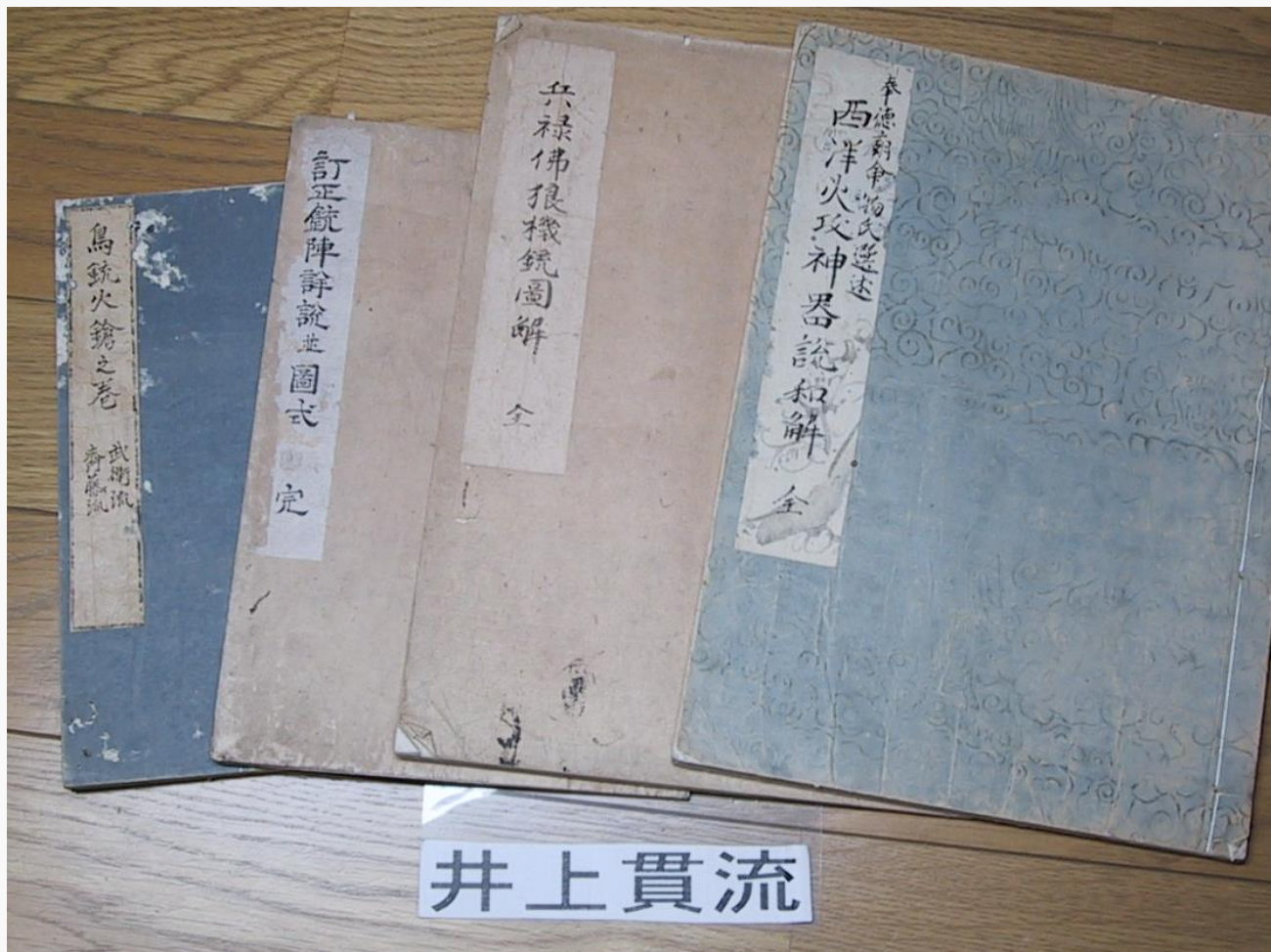


貫流砲術調査図集

西洋砲術書翻訳本・写本

- 江戸城内砲術上覧吹上御庭角場絵図、権現様持筒、大坂御鉄砲奉行改絵図、御物大銃之記、紅葉山下宝庫巨砲点検、江戸城諸櫓多門有之御筒吟味。
- 兵禄佛狼機銃図解、守銃攻銃図解、佛狼機銃国字解、西洋火攻神器説和解、泰西海陸必要正真火器製造書、紅毛火術秘伝抄

西洋砲術書翻譯本・写本



威遠館演銃場・町医克明館主人 貫流と貫流左衛門

- 文化5年1808年正月威遠館演銃場之壁書
- 鉄砲稽古心得之事 威遠館主人 克明館主人井上貫流は江戸に武衛流演銃場を経営していたと思われる。威遠館は蝦夷地でも使用している事から井上貫流の砲術道場の名称、克明館は医術医院の名称か。
- 井上貫流は幕臣後、井上左太夫の命により、文化6年3月10日貫流の名前が異風との理由で貫流左衛門に改名している。

貫之英流とは

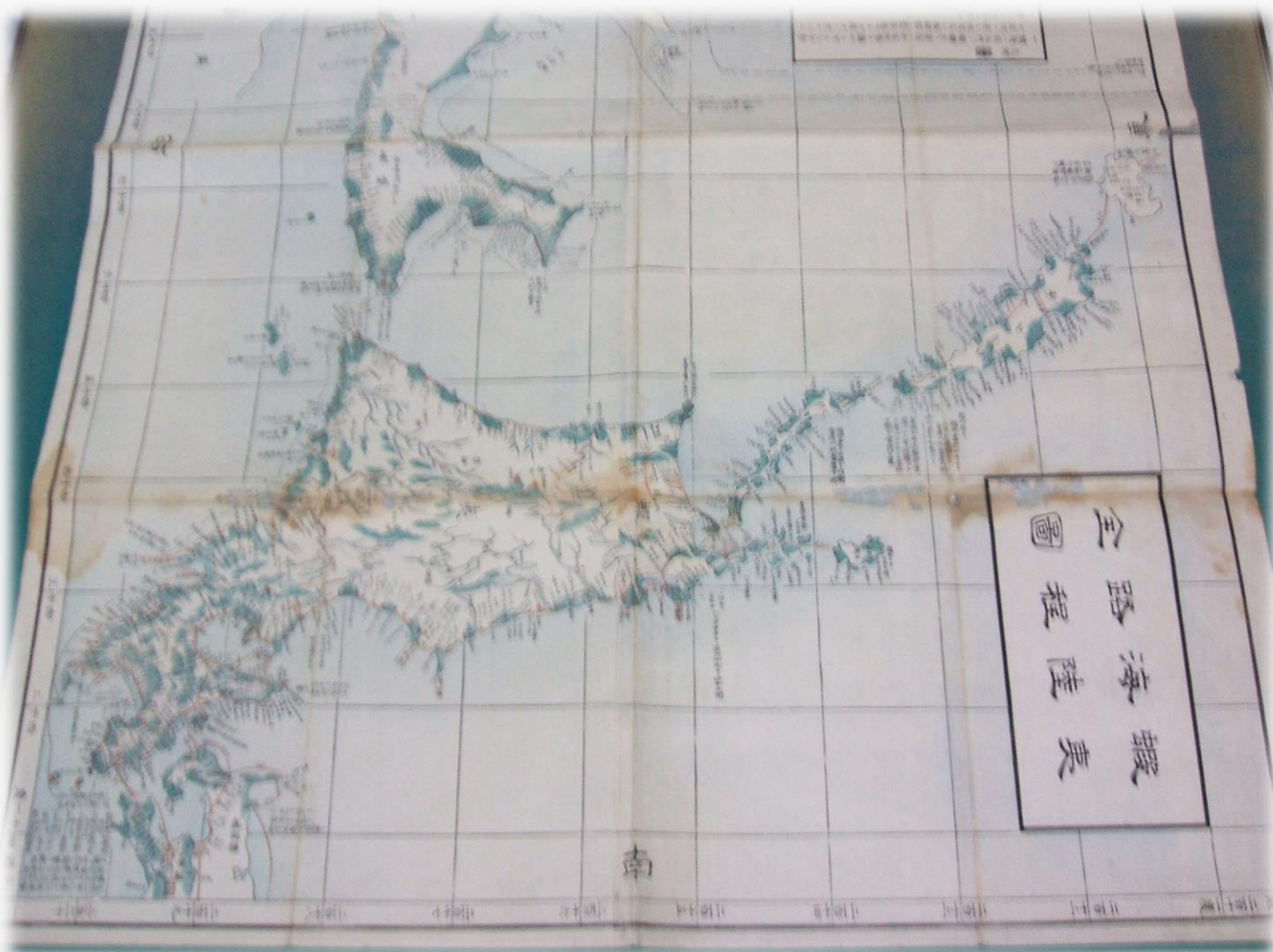
- 文化6年1809年3月井上貫流69歳の記録、
- 小筒至要集等三目録、算法の巻等中段の免許、遠陽新伝等大筒免許、近・抱・遠の火矢三段、火矢薬法・短筒・大火矢・砲禄玉等十四巻が武衛流、
- 武衛流末流に至り、自分の工夫を加え改め相加と有る。
- 古伝の工夫は米村流異風筒之留方、立放は藤岡流工夫、筒短きハ中川流、火矢は鳥居流、其外火術は追々工夫、諸流渡り量しき**一流之奇法全備して、貫之英流なり**という。

蝦夷地高嶋陣屋防衛体制

嘉永7年1854年蝦夷鑑境輿地全図



安政2年1855年蝦夷海陸路程全図



蝦夷地タカシマ禦防御用

- 文化5年1808年正月26日幕臣となった井上貫流は28日蝦夷地高嶋防禦御用を任じられ、
- 3月15日砲手8名家来6名と江戸を出立、途中松前で鉄砲、火薬を準備、
- 6月1日蝦夷地タカシマに着き、角場の造営、鮭網漁で鉄砲止になる7月19日までの間、42日の砲術稽古を実施している。幸いこの間異国船の襲来はなかったが、大坂城からの大筒配備、木砲砲台設営、火薬調合、火矢の製作、6月13日には使番村上監物視察を受けている。
- 8月20日ー26日順次タカシマを引き上げ、11月4日江戸に帰着した。

文化5辰年持場割

- 仙台藩2000人、南部藩250人、会津藩1600人、津軽藩250人計4100人の持場が明記され、渡辺、松嶋、依田、佐藤、井上、斎藤、森重、西尾等砲術師範を含め47の砲術師が砲術台場の設営や、火薬武器準備等防衛体制構築に当たっている。
- タカシマの守備範囲はイシカリ、ノブシヤ、オタルナイよりフルウとされ調役木原半兵衛、御禦防卒長井上貫流以下9名の砲術師が記入され、津軽藩士100名の一部の守備領域とされている。

文化5辰年1808年持場所割

- 仙台家700エトロフ・仙台家500クナシリ・南部家100コモロ
- 南部家50アツケシ・クスリ渡辺庄次郎等三人・トカチ・ホロイツミ
- 南部家100シャマニ・ウラカワ・ミツイシ・ニイカップ・シツナイ・サル・ユウブツ・シラオイ・ホロベツ・エトモ・ウス・アフタ中—三沢等二人
ヤムクシナイ・ヲシヤマンベ・サワラ松嶋左十郎等三人
- 仙台家800箱館依田大助等九—十人
- 会津家700カラフト・会津家600ソウヤ佐藤礼助等三人・リイシリ
- 津軽家50テシホ・ルルモツヘ・マシケ
- 津軽家100イシカリ・ノブシヤ・オタルナイよりフルウ・タカシマ井上貫流等九人
- イワナイよりシマコマキ・スツツ・クマイシ斎藤於菟丞等三人・津軽家100江指
- 会津家300松前森重靱負(森重都由享和元年1801年御書院与力着蝦夷地火術取締役)等十一人・白神崎西尾謙次郎等三人
4100人九砲術家47砲術師

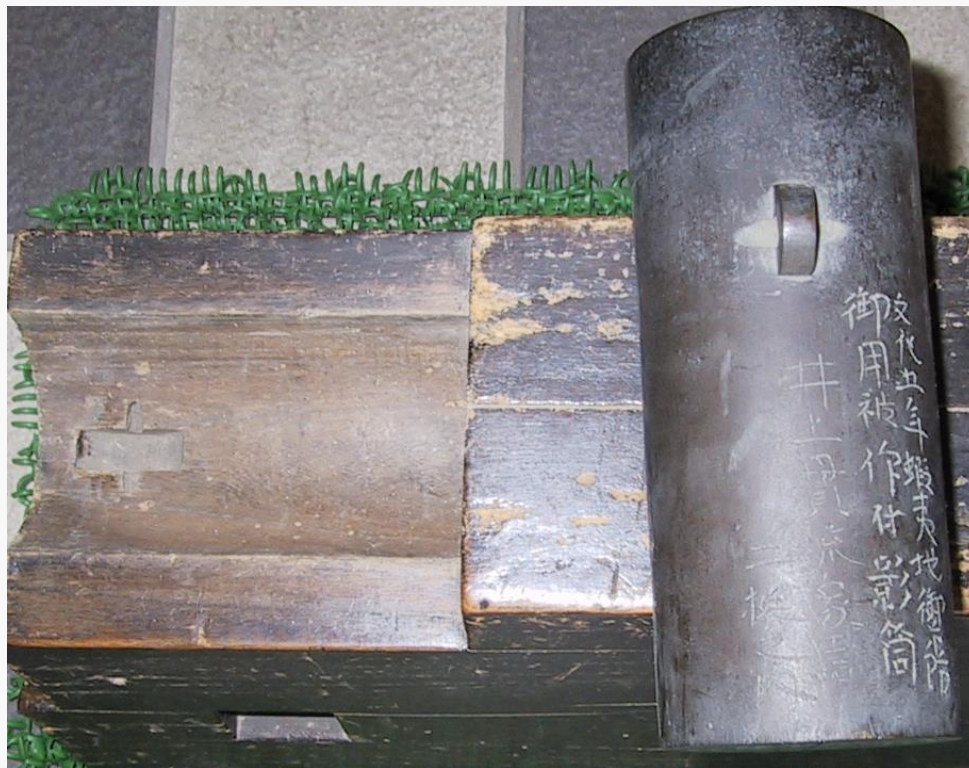
西蝦夷地高嶋之略図

- 井上貫流は6月1日着岸後巡見し、西蝦夷地高嶋之略図を作成、絵図には津軽家人数は越年の場所非禦防とし、蝦夷人四十九軒170人、惣乙名モンド、タカシマ、テミヤ、シクツシの蝦夷人調査、船数、津軽藩陣屋規模、沿岸水深、井戸、運上所、砲術方住居を記入、防衛設備として大砲2門砲座、矢場、的、焰硝蔵、狼煙台、木砲台場の配備を描いている。



西蝦夷地高嶼之略図為高嶋禦防 文化5年6月朔日着岸巡見之後図之

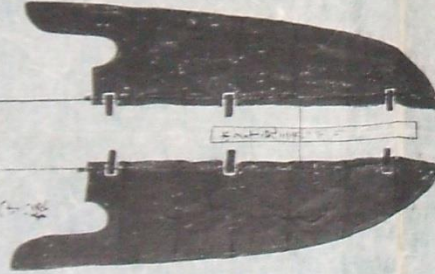
- ・ 調役 木原半兵衛・御禦防卒長 井上貫流直・差添 八人
津軽家人数者越年の場所也非禦防
- ・ タカシマ持場所 蝦夷惣家数49軒 惣人数170人
- ・ 惣乙名 モンド ワキ乙名 モシリトモ 小仕ヲシヨログク チコバ ヤクワン
- ・ タカシマ男31人 女20人 家数14軒 テミヤ男37人 女40人 家数24軒 シクツ
シ男22人 女20人 家数11軒
- ・ タカシマ持場 番船1艘 図合船3艘 三半船1艘 ポツチ2艘 エゾ溪船43艘
- ・ カワシラーメナシトマリーシクツシーシマムイトヨイーカヤシマノ崎—ポントマリノ崎
—ポントマリ
- ・ カヤシマノ崎よりポントマリノ崎まで海岸道12丁15間(1338m)
- ・ 津軽越中守人数陣屋24x46x11x43間
- ・ 柵列・運上屋・三百目筒・カヤクラ・一メ目筒砲術方・イタクラ・塩クラ・常用水・
矢場・的・
- ・ エンセウ蔵2軒・カワシラ山烽火台ツミ木有リタカシマ運上所より1里余・稻荷・井戸
- ・ 夷家14軒・木砲備場・沿岸水深



rite
ring
small

建 亥 年 月 日 共 三 百 日 三 道 形 如 此
狀 則 頭 有 人 能 受 之
百 日 之 間 亦 斷 無 受 之
未 來 之 難 受 亦 有 傳 也
此 書 之 意 亦 為 此 意
青 之 上 傳

故 乃 有 此 書 建 亥 年 月 日 三 道 形
則 有 人 能 受 之 也



衣 制 三 七

衣 制 三 七 明 也 亦 有 異 編

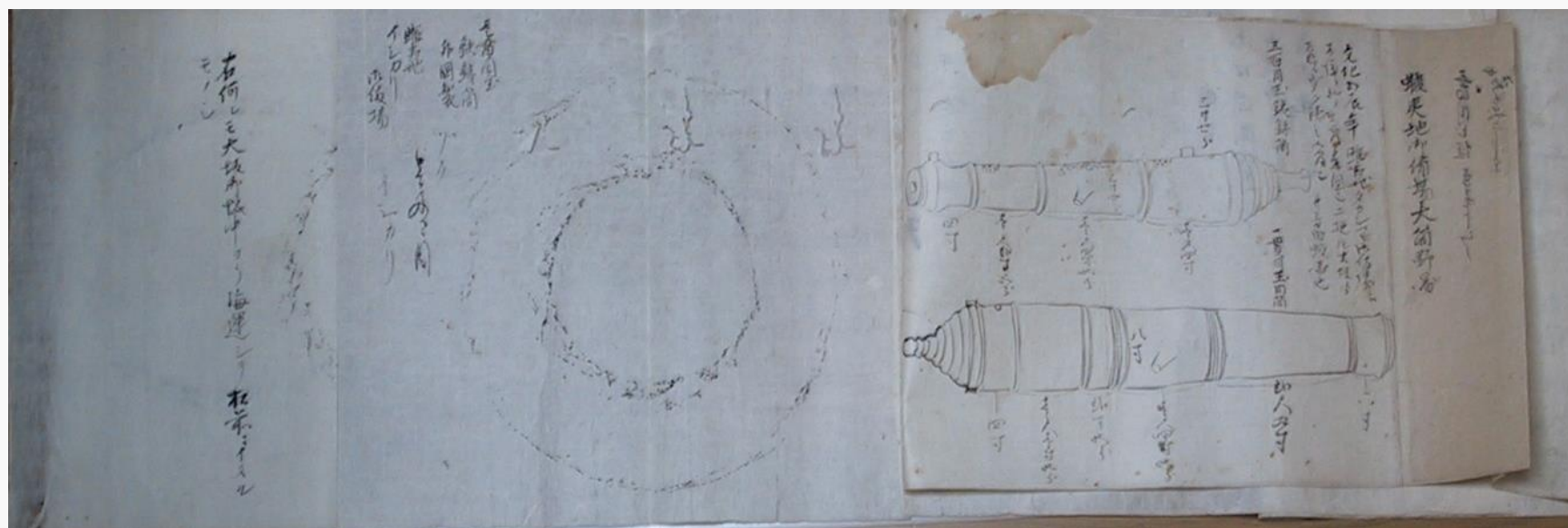
藥 持

千 時 明 也 亦 有 異 編 亦 有 異 編

若 州 獨 三 道 形 也

持 有 異 編

蝦夷地御備場大筒野図



文化9年1809年 武州西台徳丸原砲術調練

文化9年1812年193年前 徳丸原砲術記録

原題 徳丸原にて大筒稽古願候一件
並 諸入用留

内題 文化九年申四月武州西台徳丸原
大筒稽古之儀願候一件控
徳丸原稽古諸入用控

16. 5x24. 0cm和装本、木版20行原稿用紙使用、42枚84頁 初代井上貫流左衛門直自筆本、収録書信20通 四月一日から七月二九日迄120日間の編日記録 高島秋帆西洋砲術調練以前(29年前)の最も詳細な徳丸原砲術記録

井上貫流と高島秋帆

- | | |
|--------------|----------------|
| ● 文化9年1812年 | — 天保12年1841年 |
| ● 和流砲術武衛流 | — 和流砲術荻野新流 |
| ● 鉄砲方与力格 | — 長崎奉行御鉄砲方 |
| ● 同門に就き、 | |
| 同一日実施・秘伝性 | — 秘事・伝授 |
| ● 徳丸原調練4回 | — 徳丸原調練1回 |
| ● 蘭書翻訳・吸収 | — 洋式砲術兵学実践 |
| ● 大筒町打稽古火術試打 | — 兵制変革の創始(勝海舟) |

まとめ

- 幕末日本、欧米列強の植民地政策、砲艦外交といわれた国際情勢の中で、砲術が日本を救済し、井上貫流や多くの砲術家がそれぞれの立場で日本の近代化に多大の貢献した。砲術の役割について、幕末史の中で正確な検証が今後必要とされる。
- 井上貫流という幕臣の生涯、井上家3代については江戸東京博物館の昨年の調査報告が、井上家文書の所在を明確にしたこと等、大きな成果であった。ただ、それは砲術家井上貫流の調査ではない。全国に流布した武衛流砲術は資料も全国に散在している。

地域活性化の事例紹介

上田商工会議所主催展示会



城と合戦 松

29日(日) 【会場】上田商工会議所

企画／古地図と城の博物館 富原文庫

真田太平記の舞台 戦国時代の城と合戦絵図展

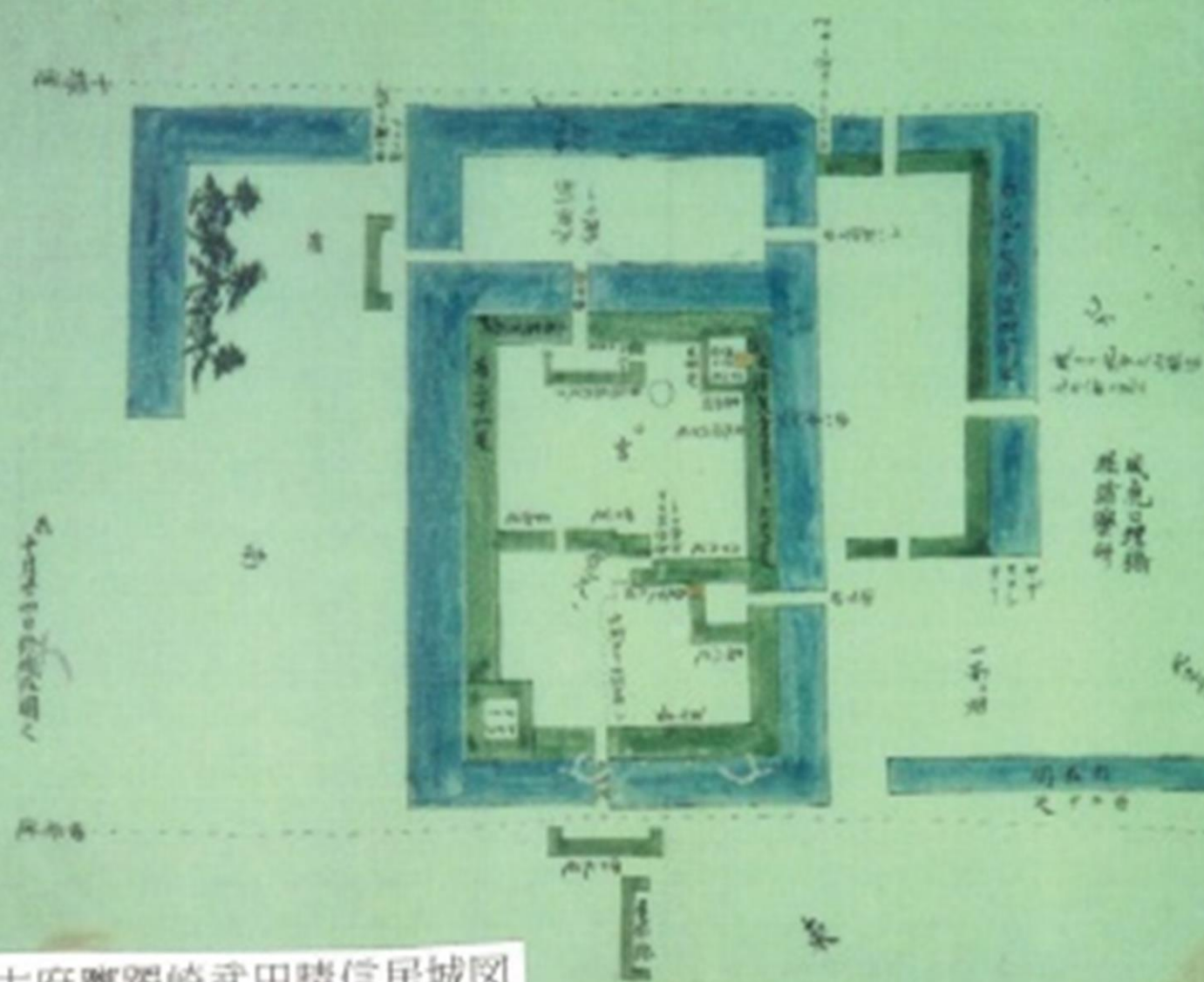


真田太平記の舞台

戦国時代の城と合戦絵図展

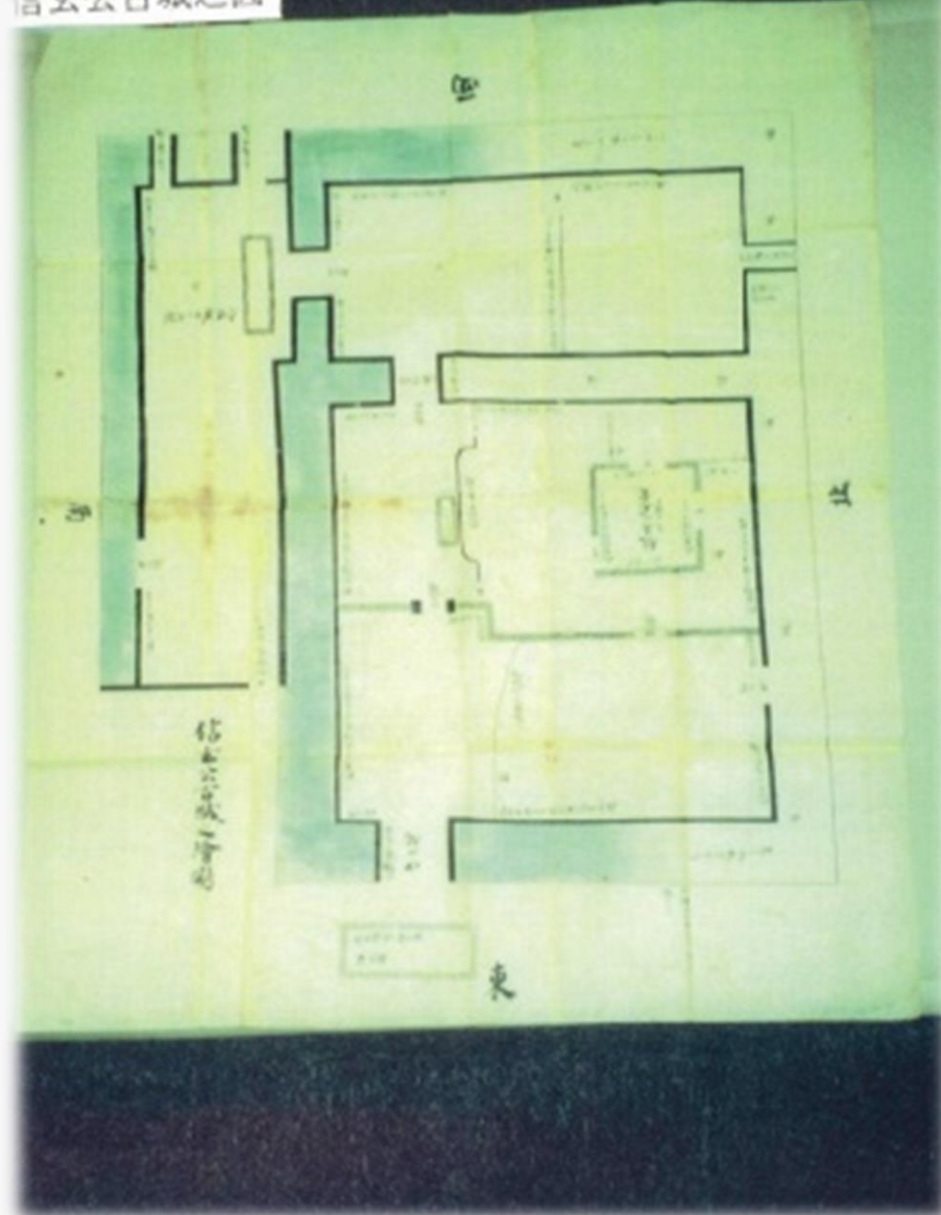
城絵図・錦絵140点展示公開

甲州古府躑躅崎武田晴信居城圖



甲州古府躑躅崎武田晴信居城圖

信玄公古城之図



パネル 4 / 5

テーマ：甲府絵図にみる躑躅が崎館

甲府絵図にみる躑躅が崎館



甲府城下町絵図

海野平台戦に敗れ、幸隆箕輪城へ



上州箕輪城図



1541

1542

1543

1544

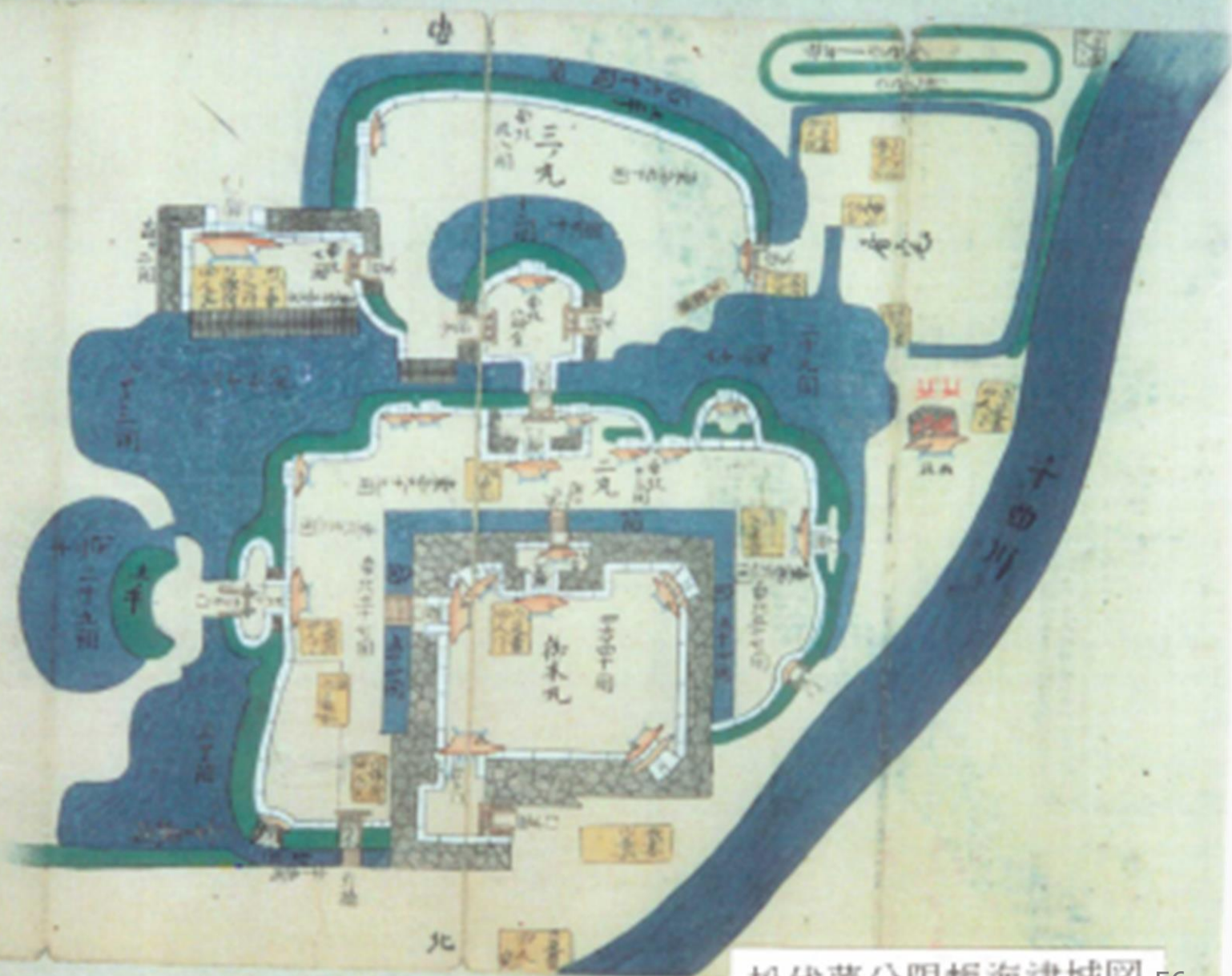
1545

1546 天

1547 天

1548 天

1549 天



松代藩分限帳津城図 56



甲斐二十四将図



甲州川中島大合戦八幡原直戦之図

春日山古城之図



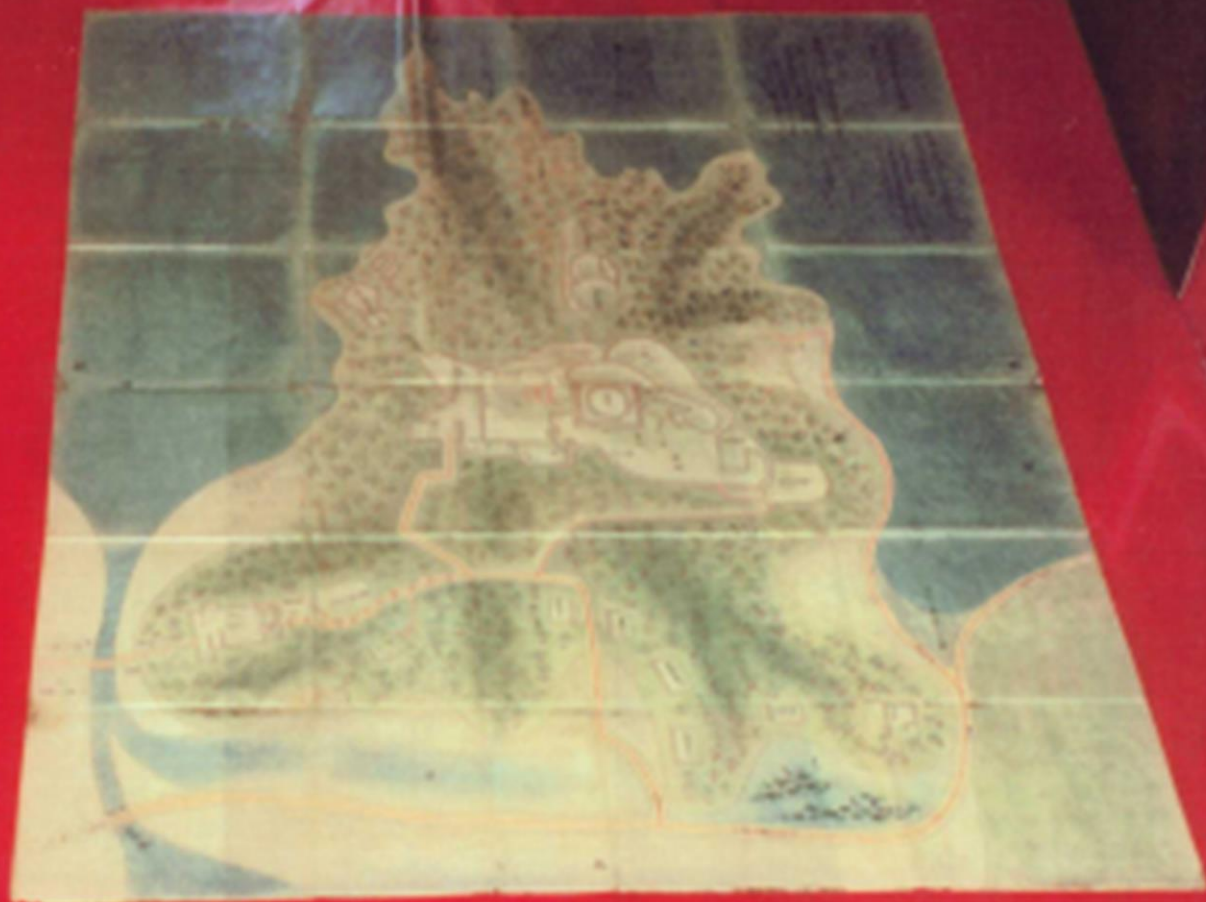


長篠大戦之図

パネル32/33

テーマ：織田の進攻・本城安土城

織田の進攻・本城安土城



近江国蒲生郡安土古城図



図城口野海全集鑑軍陽尹



甲陽軍鑑全集海津城図



甲陽軍鑑全集海津城図

年表 14

その後の時代 甲州流兵法確立伝来 真田の元氣現代へ

パネル 52

甲陽軍鑑

118 甲陽軍鑑全集海野口城図

27 × 36

木版本挿絵

119 甲陽軍鑑全集戸石合戦図

27 × 36

木版本挿絵

120 甲陽軍鑑全集海津城図

27 × 36

木版本挿絵

121 甲陽軍鑑全集一之巻合戦図

27 × 37

木版本挿絵

パネル53/54

テーマ：兵法城絵図

山本勘介一枚之図



信玄全

兵法城絵図

パネル58/59

テーマ：幕末、佐久の築城

幕末、佐久の築城



岩村田御封内上ノ城御陣屋御新築縄張図面



岩村田御封内上ノ城御陣屋御新築縄張図面